

F A X 送 付 状

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 5枚
送信日 2017年 12月 21日



日本モンキーセンターの年末年始のイベントのご案内

2017年も残すところあと僅かとなりました。本年、皆さまには大変お世話になりました。2018年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、当園では①成年企画を開催しており、年始に盛り上がりのピークを迎えます。また年末は②「もういくつ寝るとお正月！チンパンジーのベッドをつくろう！」、年始は例年通り縁起物である③「奇跡のみかん」の配布や④「サルおせち」など、お正月らしいイベントを開催致します。成年と合わせてご紹介いただければ幸いです。

①年始期間（1月1日～8日）に開催の成年企画

「ワン！」と鳴くアヌビスヒヒにちなんだイベントです。

- ・祝・成年！フルーツまき
- ・このヒヒ見つけ！
- ・飼育員と一緒におやつをつくろう！ 成年特別バージョン

②年末限定イベント

- ・もういくつ寝るとお正月！チンパンジーのベッドをつくろう！

③縁起物「奇跡のみかん」

今年もゴリラのウンチから芽を出した『奇跡のみかん』が実りました。今年は実った数が少ないためとても貴重です。

どうして「奇跡」なのかと申しますと、実はゴリラのウンチに混じっていたみかん（甘夏のなかま）の種が奇跡的に生き残り、大樹となり、実を結んだのです。

④サルおせち

お正月といえば「おせち」！園内のサルや類人猿たちにも飼育員が作った「サルおせち」をプレゼントします。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp
イベント担当者 : 附属動物園部 荒木、田中、辻内 学術部 赤見、江藤

資料①成年企画

年始より開催する成年イベント詳細

・祝・成年！フルーツまき

内容 ヒヒの城で成年をお祝いしましょう。
アヌビスヒヒたちにドライフルーツを
プレゼントします。

日程 1月1日（月）～1月4日（木）

時間 12:30～13:00



・このヒヒ見つけ！

内容 10頭のアヌビスヒヒたちの写真から顔
を見分けられるかな？ 個体識別に挑戦！

日程 1月5日（金）～1月8日（月）

時間 12:30～13:00



・飼育員と一緒におやつをつくろう！ 成年特別バージョン

内容 アヌビスヒヒたちが喜んでくれるように豪華なフルーツなどを使っておやつを
作り、成年をお祝いしましょう。

日程 1月14日（日）、1月21日（日）、1月28日（日）

時間 13:00～13:45 参加費 800円

・成年講演会「ヒトとイヌ、共生がうんだ特別な関係」

内容 イヌの社会性などの研究で有名な菊水健史先生(麻布大学教授)をお招きして、
講演会を開催します。

日程 1月8日（月・祝）

時間 11:00～12:00

開催中の成年の各イベント詳細

・アヌビスヒヒと一緒に写真を撮ろう！

内容 楽しく撮影ができるアイテムを使用し、
アヌビスヒヒと一緒に写真撮影できます。
年賀状やSNSに使えるかも？

日程 11月25日～2月26日（期間中常設）

場所 ヒヒの城

・野生のアヌビスヒヒ写真展

内容 モンキーセンターの職員が撮影した
野生のアヌビスヒヒの写真を展示します

日程 12月1日～2月26日（期間中常設）

場所 ヒヒの城



資料②年末限定イベント

もういくつ寝るとお正月！チンパンジーのベッドをつくろう！

詳細

内容 野生のチンパンジーは、高い木の上で枝を折り込んでベッドを作って寝ます。今年一年の締めくくりとして、感謝を込めて彼らが快適に眠れるベッドを作ります。当日は来園者の方々と一緒に消防ホースを編んで、ゆらゆら揺れるベッドをプレゼントします。

日程 12月30日（土）

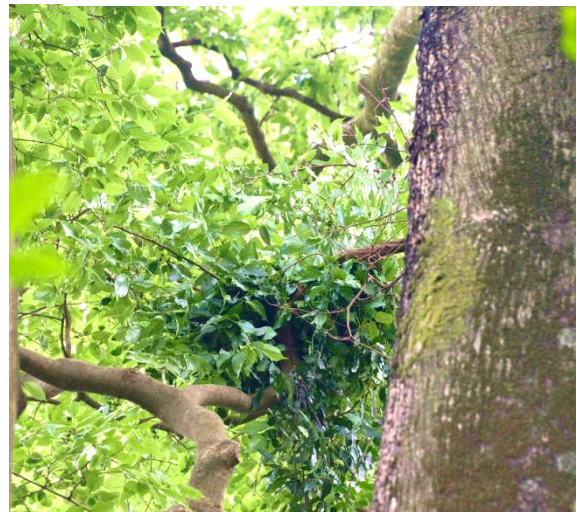
時間 11:00～11:45

参加費 500円

放飼場の森から顔を出すマリリン



野生のチンパンジーのベッド



資料③奇跡のみかん

③-1「奇跡のみかん」の摘み取り

日程：2017年12月28日(木)、※雨天予備日12月29日

時間：13:30～ 場所：アフリカセンター

摘み取りは、ゴリラを室内に収容して実施します。みかんとゴリラと一緒に写った写真は、データにてご提供可能です。

③-2「奇跡のみかん」プレゼント

日時：2018年1月1日(月・元旦)～3日(水)10:00～ ※各日先着20個限定。なくなり次第終了 場所：アフリカセンター屋外 ゴリラ運動場前

奇跡の理由

- ・モンキーセンターのゴリラは毎日、みかん類を食べています。はっさくや甘夏には種がたくさん含まれますが、一部は噛み潰されてしまいます。
- ・生き残った種はフンとともにゴリラの体内から出てきます。しかし、毎日の清掃によりほとんどが回収され処理されます。
- ・まれに生き残った種が発芽しても、除草されたり踏み潰されたりして、ほとんどが生き残りません。



“奇跡”の裏にある大切なこと ゴリラのフンが森を育てる！

・野生のニシローランドゴリラはさまざまな果実を食べますが、多くの場合、果実の中の種もそのまま飲み込んでしまいます。飲み込まれた種は消化されず、フンと一緒に排出されます。

・ゴリラが移動してフンをすると、森のあちこちに種が捲かれます。また、フンから出てきた種は、通常の落下種子よりも発芽率が高くなるケースも知られています。こうして植物は子孫を増やしていきます。

・ゴリラに種を運んでもらうために、一部の植物はゴリラが好む果実をつけ、飲み込まれやすい種を作るよう進化してきました。

・これらの植物とゴリラの共生関係は、長い進化の中で育まれてきました。もしもゴリラが絶滅してしまったら...ゴリラを守ることは、森全体を守ることにもつながるのです。

資料④サルおせち

詳細

内容 飼育員がサルや類人猿たちのために腕を振るった「おせち」をプレゼントします。おせちの食材は動物たちにあげても大丈夫な果物や野菜を主に使用しています。動物たちと一緒に正月を祝いましょう！

日程 1月1日(月・祝)～1月8日(月・祝)

時間 13:30～13:50

場所

1/1(月・祝) ヒヒの城(アヌビスヒヒ)

1/2(火) Wao ランド(ワオキツネザル)

1/3(水) アフリカセンター (チンパンジー)

1/4(木) 南米館(マーモセット、オマキザル)

1/5(金) アフリカ館(マントヒヒ、パタスモンキー等アフリカ館のサルたち)

1/6(土) ビッググループ (フクロテナガザル)

1/7(日) リスザルの島(ボリビアリスザル)

1/8(月・祝) アフリカセンター (ニシローランドゴリラ)

2017年のサルおせちの様子

